

# チームで感染対策に取り組みます

感染対策チーム 石濱 晴美



毎年冬になるとインフルエンザが流行し、多くの患者様が来院されます。また最近では同じ頃にノロウイルスが流行したり、ワクチンを受けてない30～50代の男性を中心に風しんが広まったこともありました。今年には新型コロナウイルスが世界的な問題となっています。このように私達の生活の中には、目には見えない所で多くの感染症が猛威

を振るっているのです。そこで当院では感染症から患者様やご家族、そして働くスタッフの安全を守るため、**ICT(感染対策チーム)**が活動しています。

## ICT (感染対策チーム) とは

### ICT : Infection Control Team

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、リハビリスタッフ、ケアワーカーなど多くのスタッフが、病院全体の感染対策を行うチームのことです。様々な職種が専門的な知識や技術、経験のもと意見を出しながら院内の環境を整備し、スタッフに正しい知識を教育します。それでも感染症は起きてしまうことがあります。その時はスタッフが一丸となって、拡大ができるだけ最小限になるよう対応します。また地域の感染対策強化のため武蔵野市や三磨市など近隣の医療機関と連携し、年4回カンファレンスで意見を出し合っています。



**ICT** は年に一度、学術集会に参加しています。学術集会は日本中の大小様々な病院から感染対策に係るスタッフが大勢集まる、とても活気がある大会でQ&A。専門家の話を聞いて最新の知識を得る、他施設の報告を聞き自分達の活動を見直す、日頃疑問に思っている事を他の施設の方に質問して新しいアイデアを得るなど、学会参加は知識

の向上と日頃の活動のモチベーションアップに役立っています。今年2月14、15日に横浜で開かれた第35回日本環境感染学会総会・学術集会に参加し、**「中小規模病院による感染管理システム導入の検討」**のタイトルでポスター発表をしました。

当院は2019年4月新しい電子カルテと共に、感染管理システムを導入しており、そのシステムの効果と導入後のスタッフの業務軽減などについて発表しました。感染管理システムは高額で、まだ導入できない施設も多数あるため、予想以上の反響で多くの質問を受けました。このシステムは院内の感染の状況が一目で見られるので適切な感染対策をスピーディーに実施できるなど、より安全な医療の提供に役立っています。

感染対策は終わりがありません。新型コロナウイルスのような難しい問題に直面する事もありますが、患者様とスタッフの安全のため、しっかりと活動を続けます。

